

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	災害臨時特例補助金	担当部局庁	保険局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度	担当課室	保険局総務課、保険課、国民健康保険課、高齢者医療課	木下賢志、西辻浩、濱谷浩樹、横幕章人			
会計区分	一般会計	施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む				
根拠法令(具体的な条項も記載)	東日本大震災に対処するための特別の財政支援及び助成に関する法律第58条、第72条、第78条 他	関係する計画、通知等	平成23年度後期高齢者医療災害臨時特例補助金の国庫補助について 平成23年度全国健康保険協会災害臨時特例補助金について 他				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	この補助金は、東日本大震災の被災に伴う療養の給付に係る一部負担金の免除、入院時食事療養費及び入院時生活療養費にかかる標準負担額の免除及び保険料の減免の特例措置の実施による医療保険者の負担増額を補助し、健康保険事業等の円滑・適正な運営を確保することを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	協会けんぽ、健康保険組合、国民健康保険及び後期高齢者医療の保険者が行う保険料の減免及び一部負担金等の減免による負担増額等について、補助を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算					0百万円
		補正予算				85,717百万円	
		繰越し等					
		計				85,717百万円	0百万円
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	震災時の特例的な事業であるが、震災の影響の具体的な規模が確定していないため、現時点で定量的な指標を定めることはできない。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	震災時の特例的な事業であるが、震災の影響の具体的な規模が確定していないため、現時点で定量的な指標を定めることはできない。	活動実績(当初見込み)	-	-	-	-	-
				-	-	( - )	( - )
単位当たりコスト	- (円/ )	算出根拠		-			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	協会けんぽ	27,992百万円	0百万円	東日本大震災の被災に伴う臨時特例補助金であるため。			
	健康保険組合	6,310百万円	0百万円				
	国民健康保険	39,622百万円	0百万円				
	後期高齢者医療	11,793百万円	0百万円				
計	85,717百万円	0百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	23年度においては適正に執行している。なお、当該経費は震災対応の一次的な経費であり、平成24年度要求は行っていない。		
予算監視・効率化チームの所見			
	－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	－		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
	－		

※平成22年度実績を記入

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	災害臨時特例補助金(介護2号保険料分)		担当部局庁	保険局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	保険局総務課、保険課、国民健康保険課、高齢者医療課		木下賢志、西辻浩、濱谷浩樹、横幕章人		
会計区分	一般会計		施策名	IV-5-1 医療・介護一体改革の推進、介護保険制度の適切な運営等を通じて、介護を必要とする高齢者を支援する				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成23年度後期高齢者医療災害臨時特例補助金の国庫補助について 平成23年度全国健康保険協会災害臨時特例補助金について 他				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	この補助金は、東日本大震災の被災に伴う保険料の減免の特例措置の実施による医療保険者の負担増額を補助し、健康保険事業等の円滑・適正な運営を確保することを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	協会けんぽ、健康保険組合及び国民健康保険の保険者が行う介護第2号保険料の減免による負担増額について、補助を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算				3,886百万円		
		繰越し等						
		計				3,886百万円	0百万円	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	震災時の特例的な事業であるが、震災の影響の具体的な規模が確定していないため、現時点で定量的な指標を定めることはできない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	震災時の特例的な事業であるが、震災の影響の具体的な規模が確定していないため、現時点で定量的な指標を定めることはできない。		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-	-
				-	-	(-)	(-)	
単位当たりコスト	-(円/ )		算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	協会けんぽ	1,625百万円	0百万円	東日本大震災の被災に伴う臨時特例補助金であるため。				
	健康保険組合	291百万円	0百万円					
	国民健康保険	1,970百万円	0百万円					
計	3,886百万円	0百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	23年度においては適正に執行している。なお、当該経費は震災対応の一次的な経費であり、平成24年度要求は行っていない。		
予算監視・効率化チームの所見			
	－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	－		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
	－		

※平成22年度実績を記入

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	診療報酬体系見直し後の評価等に係る調査に必要な経費（薬剤師等病棟業務実態調査費）		担当部局庁	保険局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度（事業開始）		担当課室	医療課	鈴木 康裕		
会計区分	一般会計		施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	社会保険医療協議会法(昭和25年法律第47号)第8条第2項		関係する計画、通知等	中央社会保険医療協議会の平成22年度答申書附帯意見			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中央社会保険医療協議会の平成22年度答申書附帯意見において、「薬剤師の病棟配置の評価を含め、チーム医療に関する評価について、検討を行うこと」とされているところであり、病院全般における薬剤師の病棟配置やチーム医療への貢献に関する評価方法について検討又は検証するために、薬剤師や関係職種の病棟配置や病棟業務に係る実態等の調査を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全病院から抽出した2000施設を対象としたアンケート調査や職能団体(日本病院薬剤師会等)、医療機関関係者への聞き取り調査を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算				11	11
		補正予算					
		繰越し等					
		計				11	11
		執行額					
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本調査は、診療報酬に関し、病院全般における薬剤師の病棟配置やチーム医療への貢献に関する評価方法について検討を行うために必要な基礎資料の収集を目的としており、定量的な指標を示すことは困難である。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本調査は、診療報酬に関し、病院全般における薬剤師の病棟配置やチーム医療への貢献に関する評価方法について検討を行うために必要な基礎資料の収集を目的としており、定量的な指標を示すことは困難である。	活動実績(当初見込み)		—	—	—	—
				—	—	( — ) ( — )	
単位当たりコスト	— (円/ )		算出根拠	—			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	薬剤師等病棟業務実態調査費	11	11				
	計	11	11				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>中央社会保険医療協議会の平成22年度答申書附帯意見において、「薬剤師の病棟配置の評価を含め、チーム医療に関する評価について、検討を行うこと」とされているところであり、病院全般における薬剤師の病棟配置やチーム医療への貢献に関する評価方法について検討又は検証するために、薬剤師や関係職種 of 病棟配置や病棟業務に係る実態等の調査を行うための当該経費は必要不可欠である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業は、診療報酬の妥当性を検討するための経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

※平成22年度実績を記入

平成22年度実績なし

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	診療報酬体系見直し後の評価等に係る調査に必要な経費（薬局のかかりつけ機能に係る実態調査費）		担当部局庁	保険局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度（事業開始）		担当課室	医療課	鈴木 康裕			
会計区分	一般会計		施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	健康保険法(大正14年法律第70号)第76条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域医療における薬局のかかりつけ機能を強化するために、種々の調剤報酬改定を行ってきたが、更なる取組を促すため、これらの改定を踏まえた薬局における患者への指導等の実態等を十分に調査し、次期改定に向けての課題等を明らかにする必要がある。訪問薬剤管理指導の実態やあるべき姿、現場での新たなニーズなどを調査し、平成24年度の介護報酬・診療報酬同時改定に向けて、評価体系を整理するために必要な経費である。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全保険薬局から抽出した1000施設を対象として、在宅患者に対する訪問薬剤管理指導その他の薬剤師の関わり方等、薬局のかかりつけ機能、医療提供体制に関する書面調査を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	/	/	/	7	-	
		補正予算	/	/	/	0	/	
		繰越し等	/	/	/	0	/	
		計	/	/	/	7	-	
	執行額	/	/	/	/	/		
執行率(%)	/	/	/	/	/			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本調査は、診療報酬に関し、保険薬局における薬剤師の調剤業務等の評価方法について検討を行うために必要な基礎資料の収集を目的としており、定量的な指標を示すことは困難である。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本調査は、診療報酬に関し、保険薬局における薬剤師の調剤業務等の評価方法について検討を行うために必要な基礎資料の収集を目的としており、定量的な指標を示すことは困難である。		活動実績		-	-	-	-
			(当初見込み)		-	-	( - )	( - )
単位当たりコスト	-		(円/ )	算出根拠	-			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	薬局のかかりつけ機能に係る実態調査費	7	0	隔年の調査であるため。				
計	7	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>地域医療における薬局のかかりつけ機能を強化するために、種々の調剤報酬改定を行ってきたが、更なる取組を促すため、これらの改定を踏まえた薬局における患者への指導等の実態等を十分に調査し、次期改定に向けての課題等を明らかにする必要がある、訪問薬剤管理指導の実態やあるべき姿、現場での新たなニーズなどを調査し、平成24年度の介護報酬・診療報酬同時改定に向けて、評価体系を整理するため、当該経費は必要不可欠なものである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、診療報酬の妥当性を検討するための経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	<p>—</p>		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
	<p>—</p>		

※平成22年度実績を記入

平成22年度実績なし

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

